

辰 野 町
第五次総合計画後期基本計画策定のための
意識調査

報 告 書
(速 報 値)

平成26年12月

辰野町第五次総合計画後期基本計画策定のための意識調査 報告書（速報値）

目 次

I アンケート概要	2
II 単純集計速報	5
問 1	5
問 2	5
問 3	6
問 4	6
問 5	7
問 6	7
問 7	8
問 8	8
問 9	9
問 11	24
問 12	24
問 13	25
問 14	26
問 15	27
問 16	27
問 17	28
問 18	29
問 19	30
問 20	30
問 21	31
問 22	32

アンケート概要

(1) 目的

本アンケート調査は、辰野町第五次総合計画前期基本計画の住民満足度及び重要度等の調査項目を集計し、総合的かつ計画的な行政運営を図るための、辰野町第五次総合計画後期基本計画の策定に資する資料を作成することを目的とした。

(2) 調査対象（母集団）

住民基本台帳から無作為抽出した 18 歳以上の男女 2,000 人を調査対象（母集団）とした。

(3) 標本抽出

3.1 標本数の確認

標本数の確認は、次の公式を用いて、全町民に対して及び 18 歳以上町民に対して、信頼度 99.7%（信頼度係数 3.0000）、誤差率±5%となる事を確認した。

なお、公式中の母比率は、設問の内容が多岐にわたることや、選択肢が複数であることを考慮し、標本数が最大となる二者択一（50%）を用いることとした。

$$\text{標本数} = \frac{\text{母集団の数}}{1 + \frac{(\text{母集団の数} - 1)}{(1 - \text{母比率}) \times \text{母比率}}} \times \left(\frac{\text{誤差率}}{\text{信頼度係数}} \right)^2$$

信頼度係数標

信頼度(%)	68.3	90.0	95.0	95.4	99.0	99.7
信頼度係数	1.000	1.645	1.960	2.000	2.576	3.000

標本数検討表(辰野町 平成26年6月1日住民基本台帳による総人口)

母集団	標本数	信頼度	誤差率	母比率	信頼度係数
20,563	863	99.7%	5%	0.5	3.000
20,563	643	99.0%	5%	0.5	2.576

標本数検討表(辰野町 平成26年6月1日住民基本台帳による18歳以上人口)

	標本数	信頼度	誤差率	母比率	信頼度係数
17,580	857	99.7%	5%	0.5	3.000
17,580	640	99.0%	5%	0.5	2.576

以上の計算により、18 歳以上の住民を対象とした場合には標本数は 857 名以上の回答があれば、信頼度 99.7%、誤差率±5%となる。

今回のアンケート調査では、892 通の回答が得られた。したがって、アンケートは 99.7% 以上の信頼度が得られている。

3.2 調査結果の信頼性

それぞれの設問における選択肢の回答割合から、母集団全体の回答割合の確からしさを推定することとなるが、その推定がどの程度信頼出来るかを統計的に見る。

ある設問に対して、当該設問への回答者数と、当該選択肢を選択した者の割合において、母集団における当該選択肢を選択する割合の誤差は以下の式で表される。

$$e = Z \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

- 上式において
- e : 絶対誤差
 - Z : 信頼度係数 (表 参照)
 - n : 当該質問への回答者数
 - P : 当該選択肢を選択した者の割合

上式によって計算した絶対誤差ごとの必要な回答者数を以下に示す。

e = 3.0 %
Z = 1.96

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数 (人)	683	800	896	971	1,024	1,056	1,067

e = 2.5 %
Z = 1.96

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数 (人)	983	1,152	1,291	1,398	1,475	1,521	1,537

e = 2.0 %
Z = 1.96

P (%)	20	25	30	35	40	45	50
当該設問への回答者数 (人)	1,537	1,801	2,017	2,185	2,305	2,377	2,401

- e (絶対誤差)
- Z (信頼度係数)
- n (当該設問への回答者数)
- P (当該選択肢を選択した者の割合)

即ち、絶対誤差を 3.0%と見込んだ場合、ある設問に対して 683 名以上の回答が得られ、その内の 20%の人が A と答えていれば、母集団（17,580 名）全体においても、 $20\% \pm 3.0\%$ の人が A と答えることが 95%確かであり、また、別の設問に対して 896 名以上の回答が得られ、その内の 30%の人が B と回答した場合、母集団においても $30\% \pm 3.0\%$ の人が B と答えることが 95%確かである。

したがって、回収数 892 名が得られたので、ほぼ絶対誤差 $\pm 3.0\%$ 以下の精度が確保できた。

(4) 実施期間

平成 26 年 7 月 4 日 ～ 7 月 14 日まで

方 法： 郵送による配布・回収（一部、役場職員へは手渡し）

配布数： 2,000 名

(5) 回収結果

回収数： 892 名（未回収 1,108 名）

回収率： 44.60 %

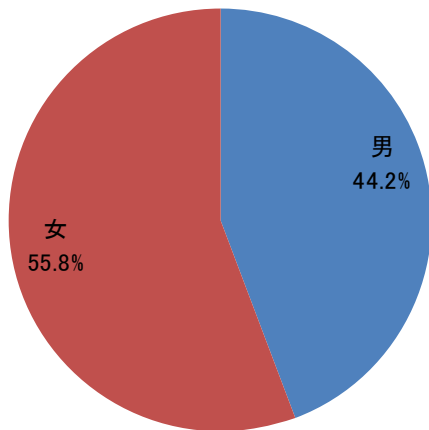
単純集計（速報）

全質問項目について、単純集計を下記に示す。

1. 問1 あなたの性別は

回答者の性別は、「男性」が44.2%、「女性」が55.8%となっており、女性の回答者がやや多い結果となっている。

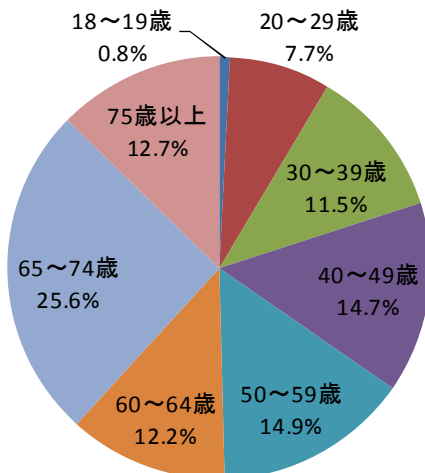
		回答数	構成比
(1)	男	375	44.2%
(2)	女	473	55.8%
	無回答	44	
	計	848	100.0%



2. 問2 あなたの年齢は

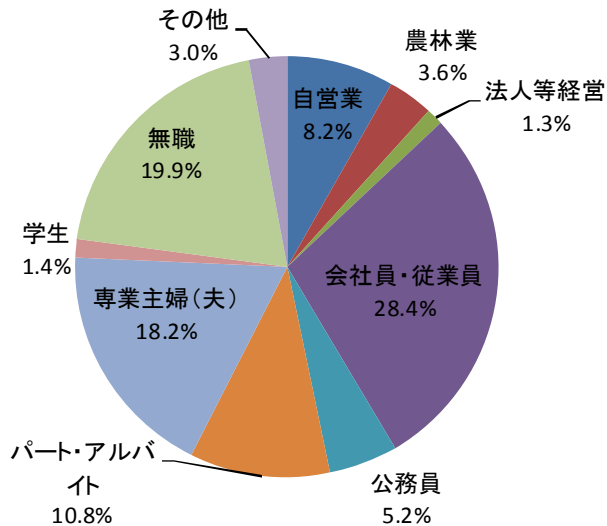
回答者の年齢は、「65～74歳代」が25.6%と最も多く、次いで「50～59歳代」が14.9%、「40～49歳代」が14.7%の順となっている。全体として65歳以上の回答者が多く、若者の回答が少ない傾向となっている。

		回答数	構成比
(1)	18～19歳	7	0.8%
(2)	20～29歳	65	7.7%
(3)	30～39歳	97	11.5%
(4)	40～49歳	124	14.7%
(5)	50～59歳	126	14.9%
(6)	60～64歳	103	12.2%
(7)	65～74歳	216	25.6%
(8)	75歳以上	107	12.7%
	無回答	47	
	計	845	100.0%



3. 問3 あなたの職業は

回答者の職業は、「会社員・従業員」が28.4%と最も多く、次いで「無職」が19.9%、「専業主婦(夫)」が18.2%の順となっている。

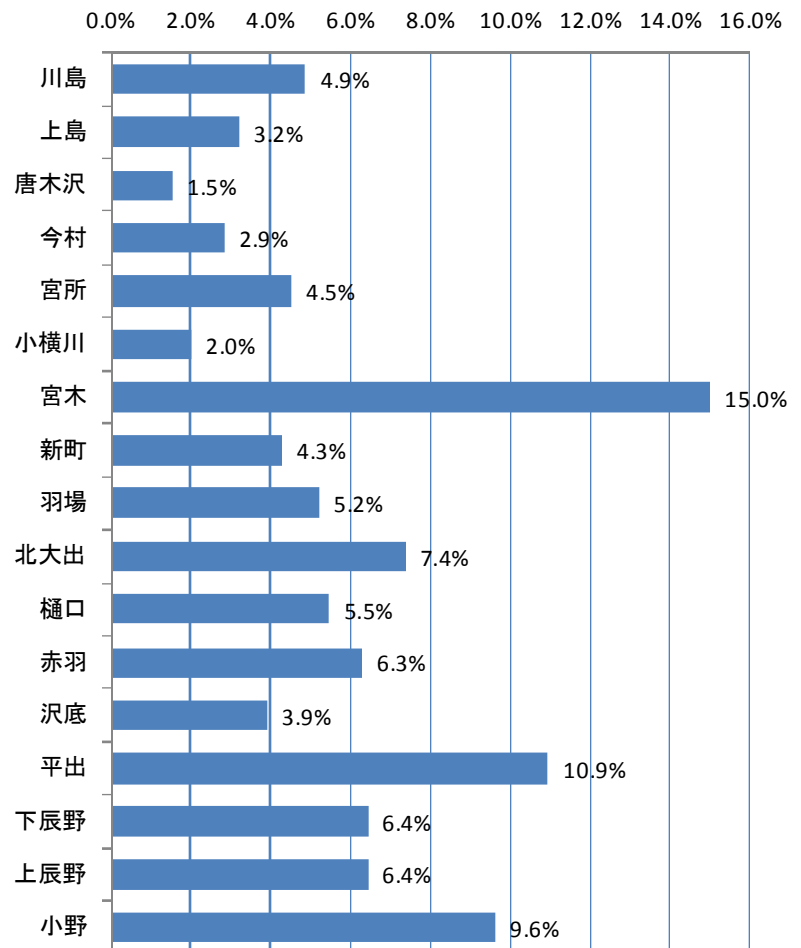


	回答数	構成比
(1) 自営業	69	8.2%
(2) 農林業	30	3.6%
(3) 法人等経営	11	1.3%
(4) 会社員・従業員	240	28.4%
(5) 公務員	44	5.2%
(6) パート・アルバイト	91	10.8%
(7) 専業主婦(夫)	154	18.2%
(8) 学生	12	1.4%
(9) 無職	168	19.9%
(10) その他	25	3.0%
無回答	48	
計	844	100.0%

4. 問4 どちらの地区に住んでいるか

回答者の居住地は、「宮木」が15.0%と最も多く、次いで「平出」が10.9%、「小野」が9.6%の順となっている。

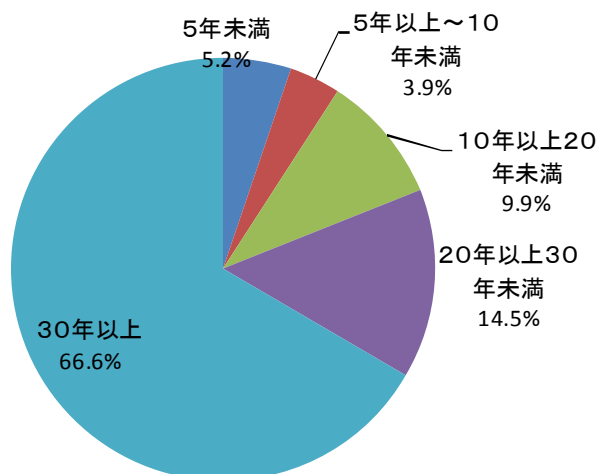
	回答数	構成比
(1) 川島	41	4.9%
(2) 上島	27	3.2%
(3) 唐木沢	13	1.5%
(4) 今村	24	2.9%
(5) 宮所	38	4.5%
(6) 小横川	17	2.0%
(7) 宮木	126	15.0%
(8) 新町	36	4.3%
(9) 羽場	44	5.2%
(10) 北大出	62	7.4%
(11) 樋口	46	5.5%
(12) 赤羽	53	6.3%
(13) 沢底	33	3.9%
(14) 平出	92	10.9%
(15) 下辰野	54	6.4%
(16) 上辰野	54	6.4%
(17) 小野	81	9.6%
無回答	51	
計	841	100.0%



5. 問5 辰野町に何年住んでいるか

回答者の居住年数は、「30年以上」が66.6%と最も多く、次いで「20年以上30年未満」が14.5%の順となっている。

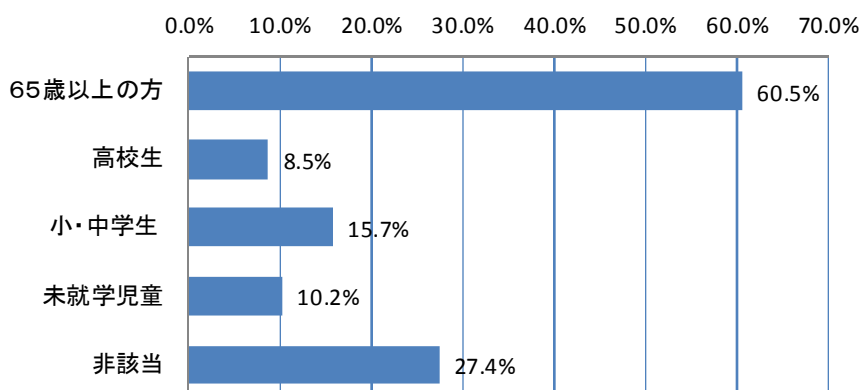
		回答数	構成比
(1)	5年未満	44	5.2%
(2)	5年以上～10年未満	33	3.9%
(3)	10年以上20年未満	84	9.9%
(4)	20年以上30年未満	123	14.5%
(5)	30年以上	566	66.6%
	無回答	42	
	計	850	100.0%



6. 問6 同居家族（回答者を含む）の状況は（複数）

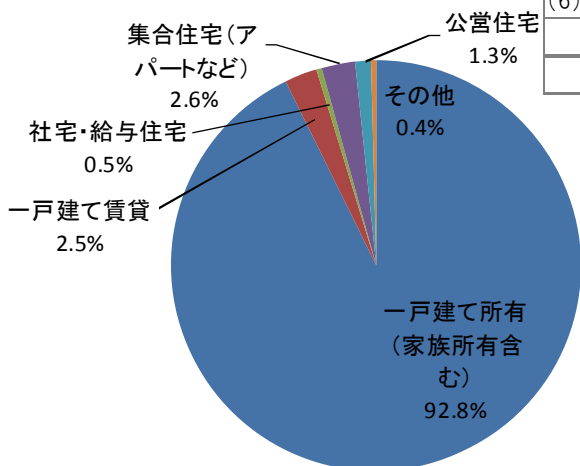
家族に該当する方の有無では、「65歳以上の方」が全回答者のうち60.5%と最も多い。「小・中学生」がいる家族は15.7%となっている。

		回答数	構成比
(1)	65歳以上の方	540	60.5%
(2)	高校生	76	8.5%
(3)	小・中学生	140	15.7%
(4)	未就学児童	91	10.2%
(5)	非該当	244	27.4%
	全回答者数	892	100.0%



7. 問7 あなたのお住まいは

回答者の住まいは、「一戸建て所有（家族所有を含む）」が92.8%と最も多い。

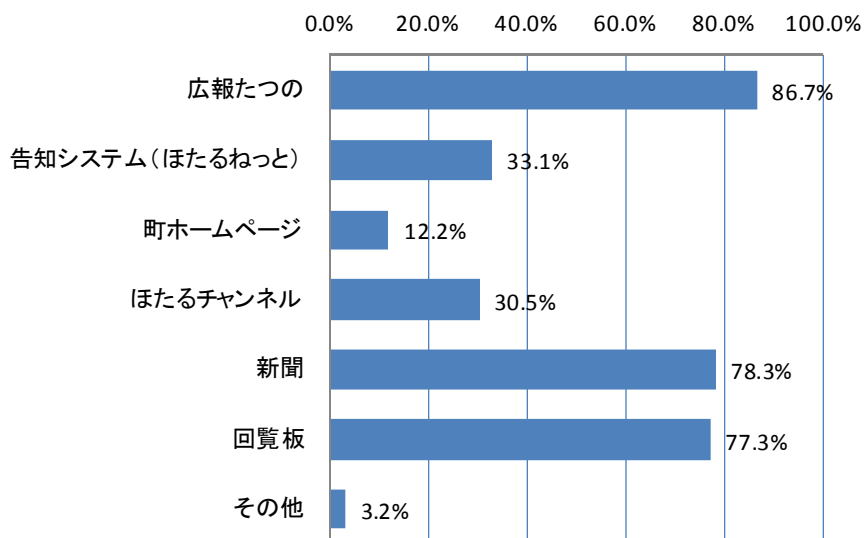


		回答数	構成比
(1)	一戸建て所有(家族所有含む)	784	92.8%
(2)	一戸建て賃貸	21	2.5%
(3)	社宅・給与住宅	4	0.5%
(4)	集合住宅(アパートなど)	22	2.6%
(5)	公営住宅	11	1.3%
(6)	その他	3	0.4%
	無回答	47	
	計	845	100.0%

8. 問8 あなたはまちからの情報を何から得ているか（複数）

まちの情報は、「広報たつの」が回答者のうち86.7%と最も多く、次いで「新聞」が78.3%、「回覧板」が77.3%となっている。

		回答数	構成比
(1)	広報たつの	731	86.7%
(2)	告知システム(ほたるねっと)	279	33.1%
(3)	町ホームページ	103	12.2%
(4)	ほたるチャンネル	257	30.5%
(5)	新聞	660	78.3%
(6)	回覧板	652	77.3%
(7)	その他	27	3.2%
	無回答	49	
	計(回答者数)	843	



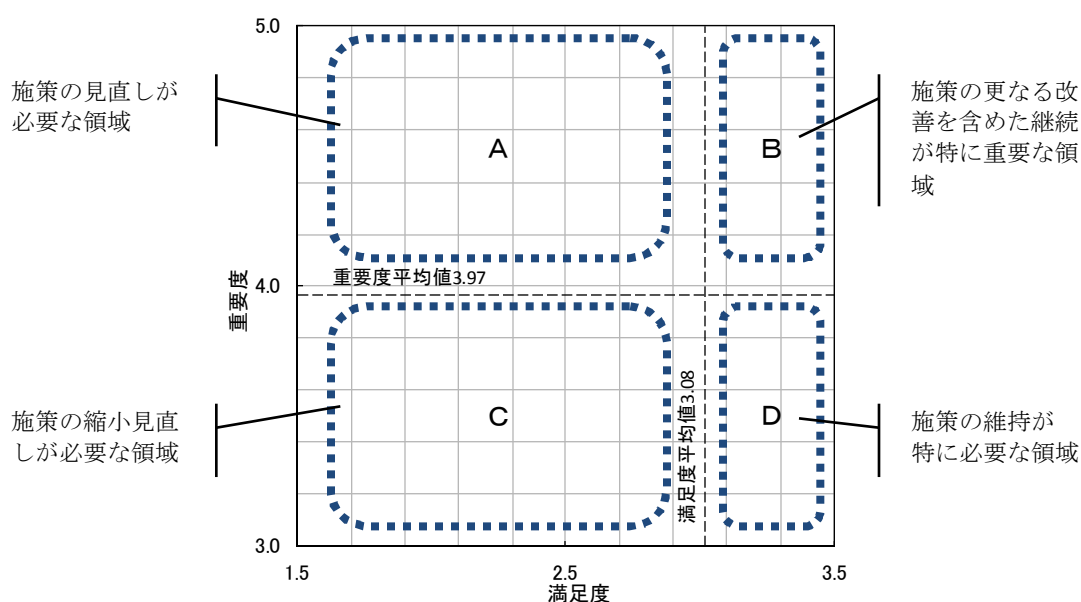
9. 問9 住んでいる地域の生活環境など、これまでの町の取り組み

アンケートの対象とした町の取り組みは、8分類30項目を対象にして満足度と重要度についての設問を行っている。単純集計では、8分類ごとに集計を行い、更に満足度と重要度の相関関係の集計を行った。

相関関係は、満足度の「とても満足」から「とても不満」まで、重要度の「とても重要」から「まったく重要でない」までの回答順に1～5のポイントを付け、それに回答数を乗算した数値の平均を算出し、満足度をX軸、重要度をY軸としたグラフに表している。

なお、4つの領域を区分する満足度平均値、及び重要度平均値は、30項目すべての平均値とした。

相関の散布図の見方は下記のとおりである。



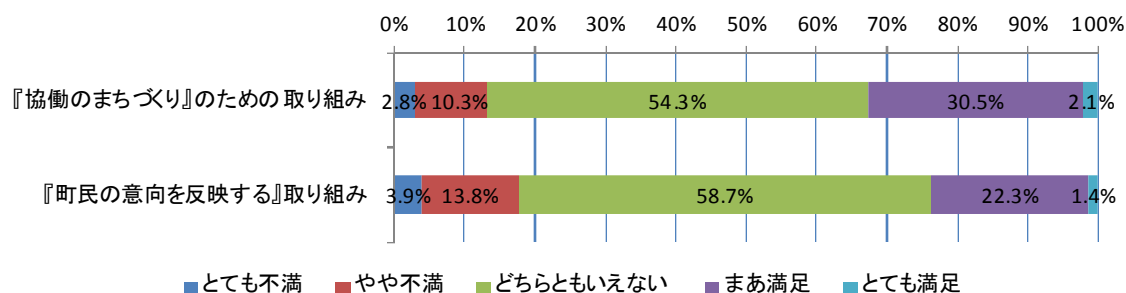
- Aの領域 重要度が高く満足度が低い領域。
町民が求めている施策の内容と、実施している施策の内容が不整合を起こしていたり、施策への取り組みが十分でないため、施策の内容等の見直しが必要な領域と判断できる。
- Bの領域 重要度が高く満足度も高い領域。
町民が施策の内容について概ね満足しており、さらなる改善も含めて重点的に継続していくことが必要な領域と判断できる。
- Cの領域 重要度が低く満足度も低い領域。
今後の推移によっては、施策の縮小、廃止を検討する領域と判断できる。
- Dの領域 重要度が低く満足度は高い領域。
住民が施策の内容に概ね満足しているが、重要度は高くないため、現状の施策の維持が特に必要な領域。

(1) 計画の実行

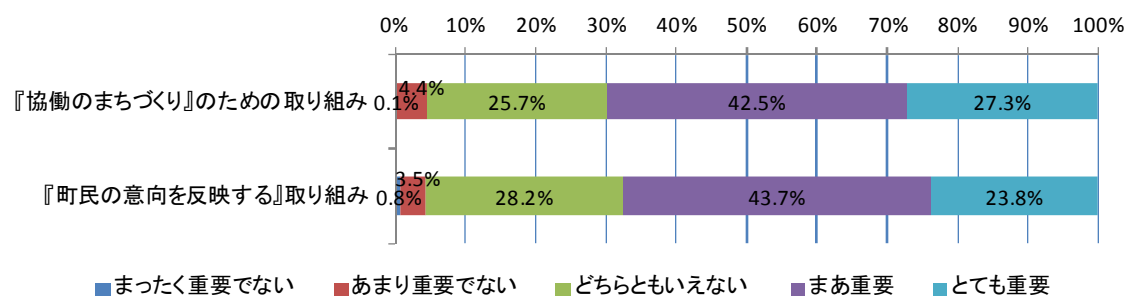
満足度においては、1『協働のまちづくり』で回答者の32.6%が「まあ満足」「とても満足」と回答している。重要度においては、1『協働のまちづくり』、2『町民の意向を反映する』共に60%以上の回答者が「まあ重要」「とても重要」と回答している。

相関関係は、1『協働のまちづくり』が「施策の維持が特に必要」の領域に位置している。

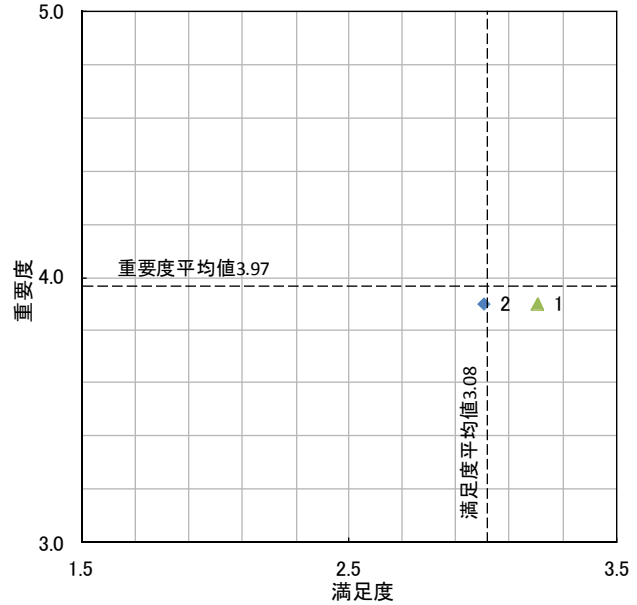
■満足度			とても不満	やや不満	どちらともいえない	まあ満足	とても満足	無回答	計
1 『協働のまちづくり』のための取り組み	回答数	23	85	447	251	17	69	823	
	構成比	2.8%	10.3%	54.3%	30.5%	2.1%		100.0%	
2 『町民の意向を反映する』取り組み	回答数	31	111	471	179	11	89	803	
	構成比	3.9%	13.8%	58.7%	22.3%	1.4%		100.0%	



■重要度			まったく重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	まあ重要	とても重要	無回答	計
1 『協働のまちづくり』のための取り組み	回答数	1	35	206	341	219	90	802	
	構成比	0.1%	4.4%	25.7%	42.5%	27.3%		100.0%	
2 『町民の意向を反映する』取り組み	回答数	6	28	223	346	188	101	791	
	構成比	0.8%	3.5%	28.2%	43.7%	23.8%		100.0%	



■満足度-重要度相関		満足度 平均スコア-	重要度 平均スコア-
1	『協働のまちづくり』のための取り組み	3.2	3.9
2	『町民の意向を反映する』取り組み	3.0	3.9

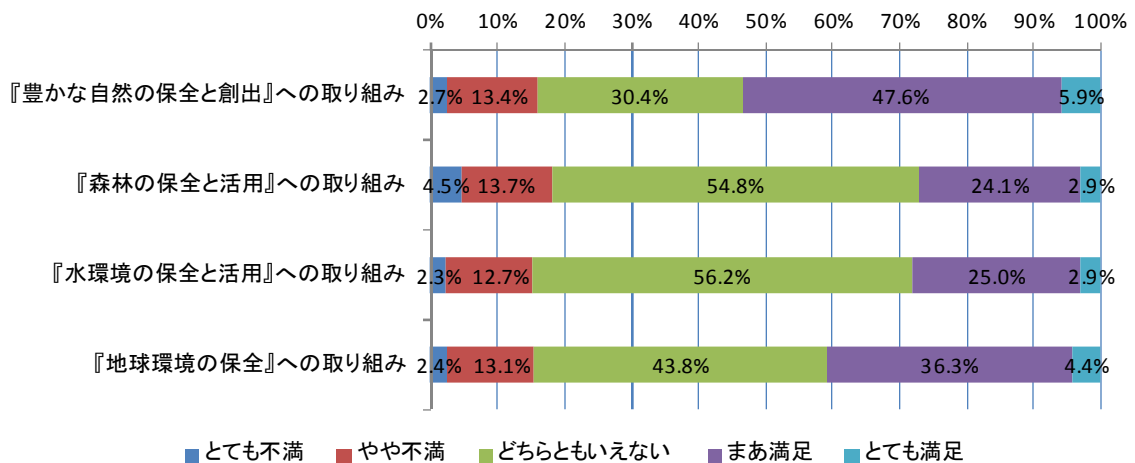


(2) 豊かな自然環境を育み活かすまちづくり

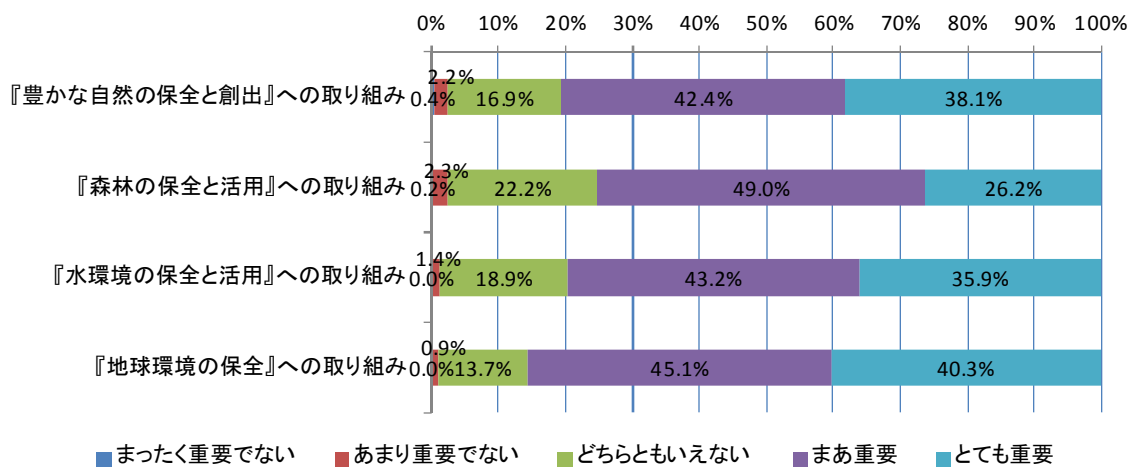
満足度において「まあ満足」「とても満足」の回答率が高い項目は、3『豊かな自然の保全と創出』が53.5%、次いで6『地球環境の保全』が40.7%となっている。重要度では、全ての項目で70%以上の回答者が「まあ重要」「とても重要」と回答している。

相関関係は、全ての項目が「施策の更なる改善を含めた継続が特に重要」の領域に位置している。

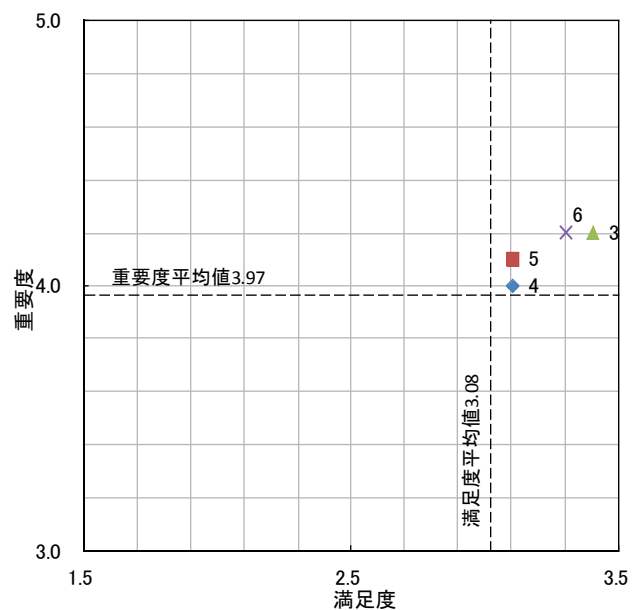
■満足度			とても 不満	やや 不満	どちらとも いえない	まあ 満足	とても 満足	無 回答	計
3	『豊かな自然の保全と創出』への取り組み	回答数	22	111	252	395	49	63	829
		構成比	2.7%	13.4%	30.4%	47.6%	5.9%		100.0%
4	『森林の保全と活用』への取り組み	回答数	37	113	452	199	24	67	825
		構成比	4.5%	13.7%	54.8%	24.1%	2.9%		100.0%
5	『水環境の保全と活用』への取り組み	回答数	19	105	464	206	24	74	818
		構成比	2.3%	12.7%	56.2%	25.0%	2.9%		99.2%
6	『地球環境の保全』への取り組み	回答数	20	108	361	299	36	68	824
		構成比	2.4%	13.1%	43.8%	36.3%	4.4%		100.0%



■重要度			まったく重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	まあ重要	とても重要	無回答	計
3	『豊かな自然の保全と創出』への取り組み	回答数	3	18	137	345	310	79	813
		構成比	0.4%	2.2%	16.9%	42.4%	38.1%		100.0%
4	『森林の保全と活用』への取り組み	回答数	2	19	181	399	213	78	814
		構成比	0.2%	2.3%	22.2%	49.0%	26.2%		100.0%
5	『水環境の保全と活用』への取り組み	回答数	0	11	154	352	292	83	809
		構成比	0.0%	1.4%	18.9%	43.2%	35.9%		99.4%
6	『地球環境の保全』への取り組み	回答数	0	7	111	366	327	81	811
		構成比	0.0%	0.9%	13.7%	45.1%	40.3%		100.0%



■満足度-重要度相関		満足度 平均スコア	重要度 平均スコア
3	『豊かな自然の保全と創出』への取り組み	3.4	4.2
4	『森林の保全と活用』への取り組み	3.1	4.0
5	『水環境の保全と活用』への取り組み	3.1	4.1
6	『地球環境の保全』への取り組み	3.3	4.2

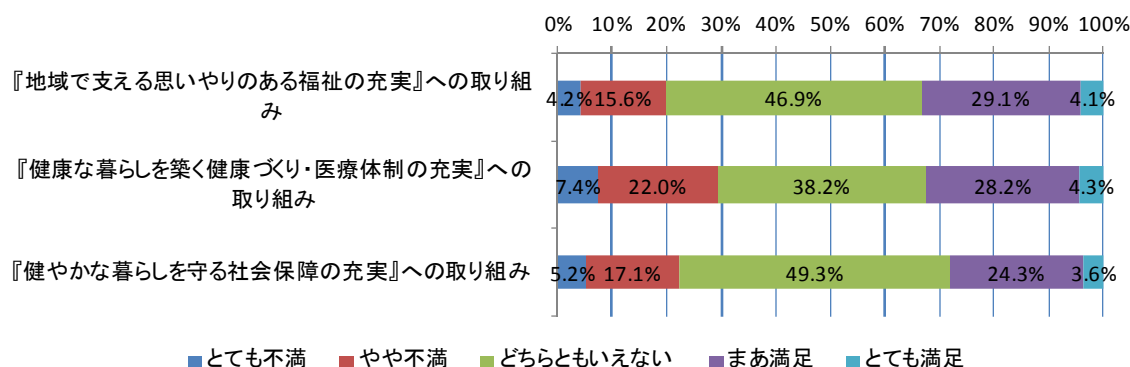


(3) 支え合いとやすらぎのまちづくり

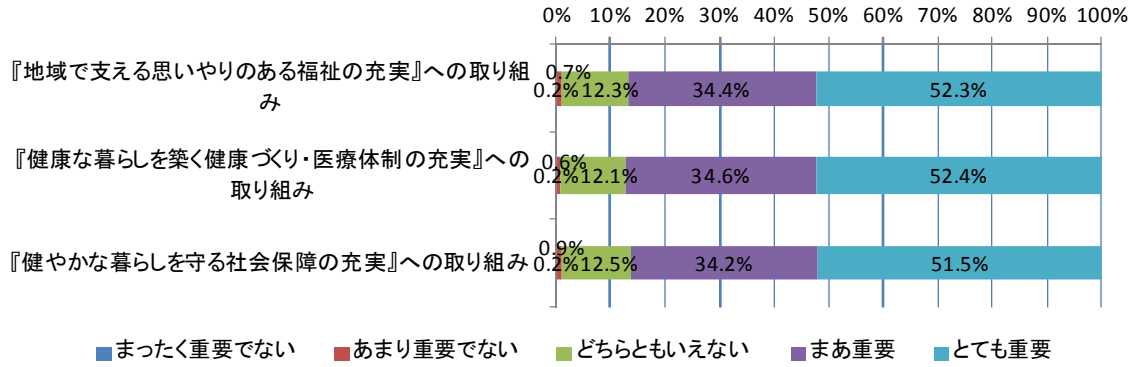
満足度において「まあ満足」「とても満足」の回答率が高い項目は、7『地域で支える思いやりのある福祉の充実』が33.2%、次いで8『健康な暮らしを築く健康づくり・医療体制の充実』が32.5%となっている。重要度では、全ての項目で80%以上の回答者が「まあ重要」「とても重要」と回答している。

相関関係は、8『健康な暮らしを築く健康づくり・医療体制の充実』、9『健やかな暮らしを守る社会保障の充実』が「施策の見直しが必要」の領域に位置している。

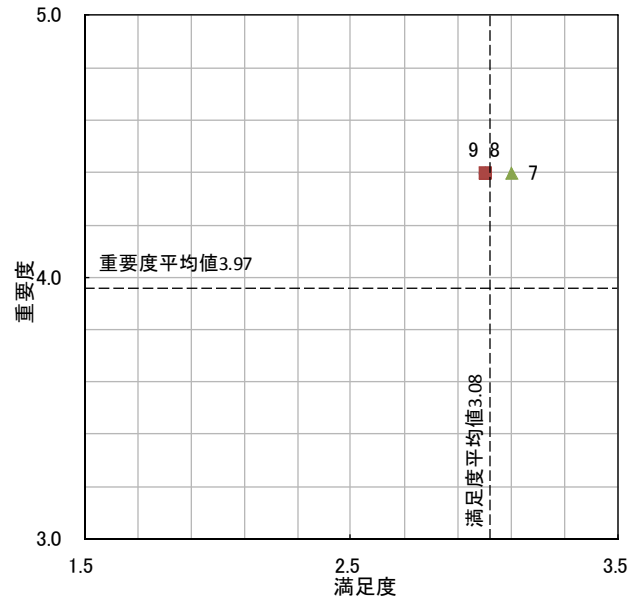
■満足度		とても不満	やや不満	どちらともいえない	まあ満足	とても満足	無回答	計
7『地域で支える思いやりのある福祉の充実』への取り組み	回答数	35	129	387	240	34	67	825
	構成比	4.2%	15.6%	46.9%	29.1%	4.1%		100.0%
8『健康な暮らしを築く健康づくり・医療体制の充実』への取り組み	回答数	61	181	314	232	35	69	823
	構成比	7.4%	22.0%	38.2%	28.2%	4.3%		100.0%
9『健やかな暮らしを守る社会保障の充実』への取り組み	回答数	43	141	406	200	30	72	820
	構成比	5.2%	17.1%	49.3%	24.3%	3.6%		99.6%



■重要度		まったく重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	まあ重要	とても重要	無回答	計
7『地域で支える思いやりのある福祉の充実』への取り組み	回答数	2	6	99	278	422	85	807
	構成比	0.2%	0.7%	12.3%	34.4%	52.3%		100.0%
8『健康な暮らしを築く健康づくり・医療体制の充実』への取り組み	回答数	2	5	98	281	425	81	811
	構成比	0.2%	0.6%	12.1%	34.6%	52.4%		100.0%
9『健やかな暮らしを守る社会保障の充実』への取り組み	回答数	2	7	101	277	418	87	805
	構成比	0.2%	0.9%	12.5%	34.2%	51.5%		99.3%



■満足度-重要度相関		
	満足度 平均スコア-	重要度 平均スコア-
7	『地域で支える思いやりのある福祉の充実』への取り組み	3.1 / 4.4
8	『健康な暮らしを築く健康づくり・医療体制の充実』への取り組み	3.0 / 4.4
9	『健やかな暮らしを守る社会保障の充実』への取り組み	3.0 / 4.4

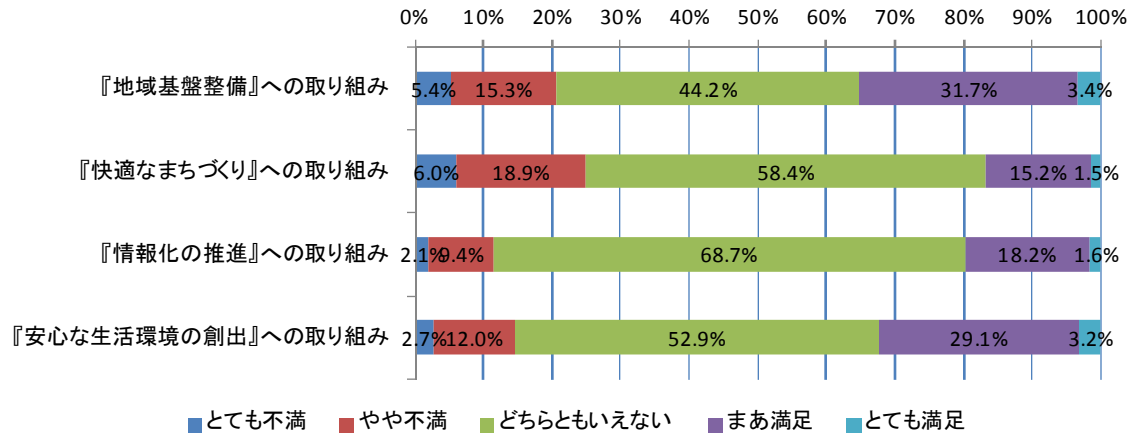


(4) 安心・安全で快適な地域を形成するまちづくり

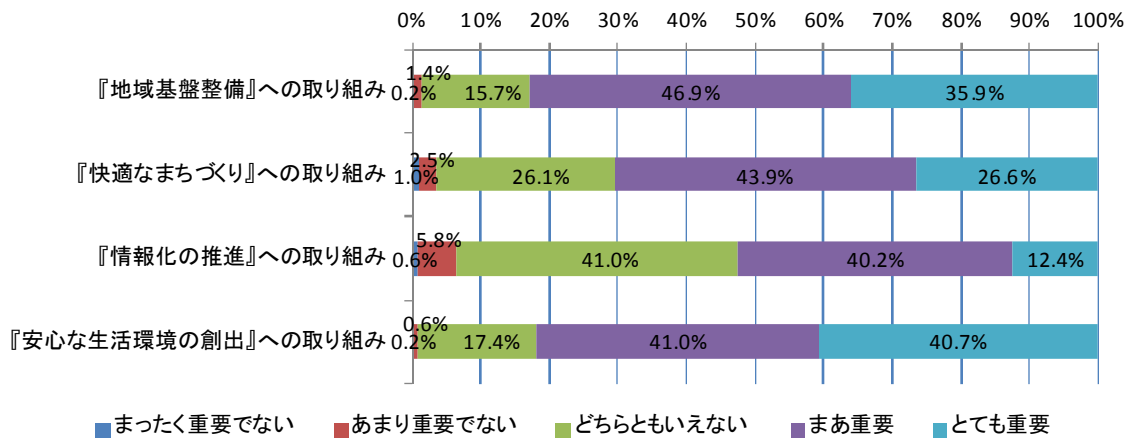
満足度において「まあ満足」「とても満足」の回答率が高い項目は、10『地域基盤整備』が 35.1%、次いで 13『安心な生活環境の創出』が 32.3%となっている。重要度では、10『地域基盤整備』と 13『安心な生活環境の創出』の項目で 80%以上の回答者が「まあ重要」「とても重要」と回答している。

相関関係は、11『快適なまちづくり』が「施策の縮小見直しが必要」の領域、12『情報化の推進』が「施策の維持が特に必要」の領域に位置している。

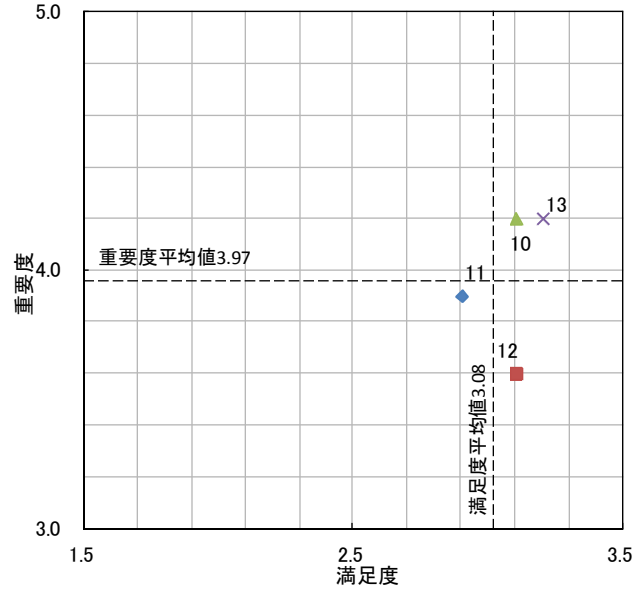
■満足度		とても不満	やや不満	どちらともいえない	まあ満足	とても満足	無回答	計
10	『地域基盤整備』への取り組み	回答数 44	126	363	260	28	71	821
		構成比 5.4%	15.3%	44.2%	31.7%	3.4%		100.0%
11	『快適なまちづくり』への取り組み	回答数 49	154	475	124	12	78	814
		構成比 6.0%	18.9%	58.4%	15.2%	1.5%		100.0%
12	『情報化の推進』への取り組み	回答数 17	75	550	146	13	91	801
		構成比 2.1%	9.4%	68.7%	18.2%	1.6%		100.0%
13	『安心な生活環境の創出』への取り組み	回答数 22	98	431	237	26	78	814
		構成比 2.7%	12.0%	52.9%	29.1%	3.2%		100.0%



■重要度		まったく重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	まあ重要	とても重要	無回答	計
10 『地域基盤整備』への取り組み	回答数	2	11	127	380	291	81	811
	構成比	0.2%	1.4%	15.7%	46.9%	35.9%		100.0%
11 『快適なまちづくり』への取り組み	回答数	8	20	209	352	213	90	802
	構成比	1.0%	2.5%	26.1%	43.9%	26.6%		100.0%
12 『情報化の推進』への取り組み	回答数	5	46	325	318	98	100	792
	構成比	0.6%	5.8%	41.0%	40.2%	12.4%		100.0%
13 『安心な生活環境の創出』への取り組み	回答数	2	5	140	330	327	88	804
	構成比	0.2%	0.6%	17.4%	41.0%	40.7%		100.0%



■満足度-重要度相関		満足度 平均スコア-	重要度 平均スコア-
10	『地域基盤整備』への取り組み	3.1	4.2
11	『快適なまちづくり』への取り組み	2.9	3.9
12	『情報化の推進』への取り組み	3.1	3.6
13	『安心な生活環境の創出』への取り組み	3.2	4.2

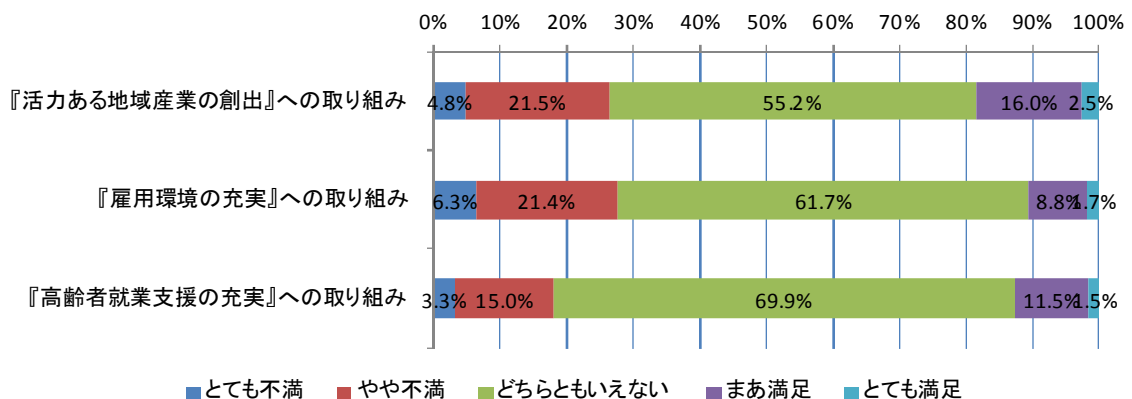


(5) 活力ある産業とにぎわいのまちづくり

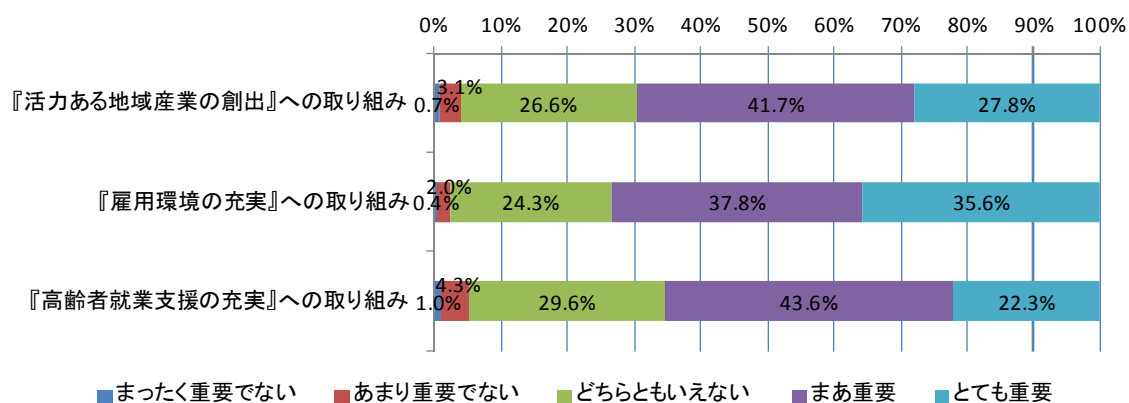
満足度において「とても不満」「やや不満」の回答率が高い項目は、15『雇用環境の充実』が27.7%、次いで14『活力ある地域産業の創出』が26.3%となっている。重要度では、「まあ重要」「とても重要」の回答率が15『雇用環境の充実』で70%を超え、14『活力ある地域産業の創出』と16『高齢者就業支援の充実』で60%を超えている。

相関関係は、15『雇用環境の充実』が「施策の見直しが必要」の領域、14『活力ある地域産業の創出』と16『高齢者就業支援の充実』が「施策の縮小見直しが必要」の領域に位置している。

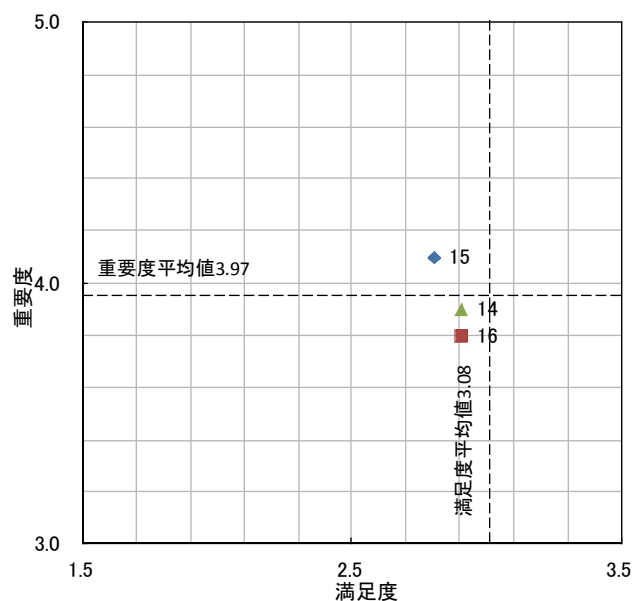
■満足度		とても不満	やや不満	どちらともいえない	まあ満足	とても満足	無回答	計
14 『活力ある地域産業の創出』への取り組み	回答数	39	175	449	130	20	79	813
	構成比	4.8%	21.5%	55.2%	16.0%	2.5%		100.0%
15 『雇用環境の充実』への取り組み	回答数	51	173	498	71	14	85	807
	構成比	6.3%	21.4%	61.7%	8.8%	1.7%		100.0%
16 『高齢者就業支援の充実』への取り組み	回答数	27	121	564	93	12	75	817
	構成比	3.3%	15.0%	69.9%	11.5%	1.5%		101.2%



■重要度		まったく重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	まあ重要	とても重要	無回答	計
14 『活力ある地域産業の創出』への取り組み	回答数	6	25	214	336	224	87	805
	構成比	0.7%	3.1%	26.6%	41.7%	27.8%		100.0%
15 『雇用環境の充実』への取り組み	回答数	3	16	194	302	285	92	800
	構成比	0.4%	2.0%	24.3%	37.8%	35.6%		100.0%
16 『高齢者就業支援の充実』への取り組み	回答数	8	34	237	349	178	86	806
	構成比	1.0%	4.3%	29.6%	43.6%	22.3%		100.8%



■満足度-重要度相関		満足度 平均スコア-	重要度 平均スコア-
14	『活力ある地域産業の創出』への取り組み	2.9	3.9
15	『雇用環境の充実』への取り組み	2.8	4.1
16	『高齢者就業支援の充実』への取り組み	2.9	3.8

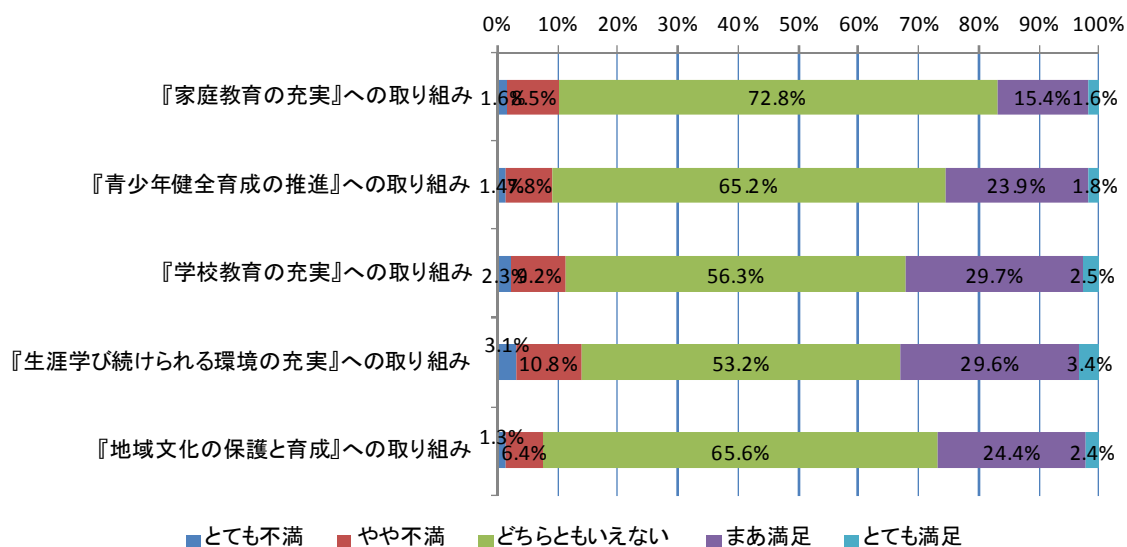


(6) 学びあいと育てあいのまちづくり

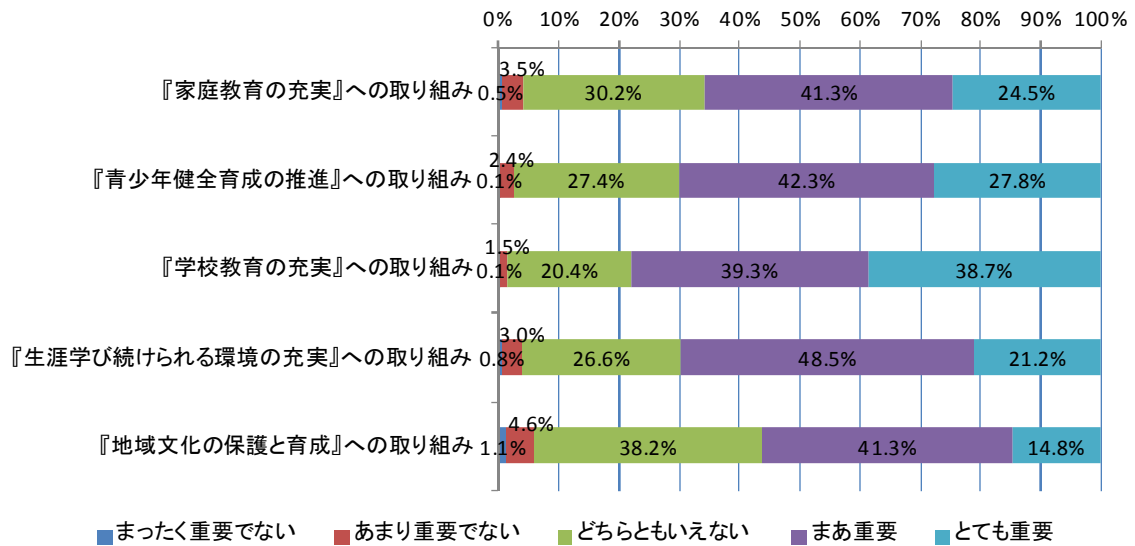
満足度において「まあ満足」「とても満足」の回答率が高い項目は、20『生涯学び続けられる環境の充実』が33.0%、次いで19『学校教育の充実』が32.2%となっている。重要度において「まあ重要」「とても重要」の回答率が高い項目は、19『学校教育の充実』が78.0%、次いで18『青少年健全育成の推進』が70.1%、20『生涯学び続けられる環境の充実』が69.7%となっている。

相関関係は、17『家庭教育の充実』、20『生涯学び続けられる環境の充実』、21『地域文化の保護と育成』が「施策の維持が特に必要」の領域に位置している。

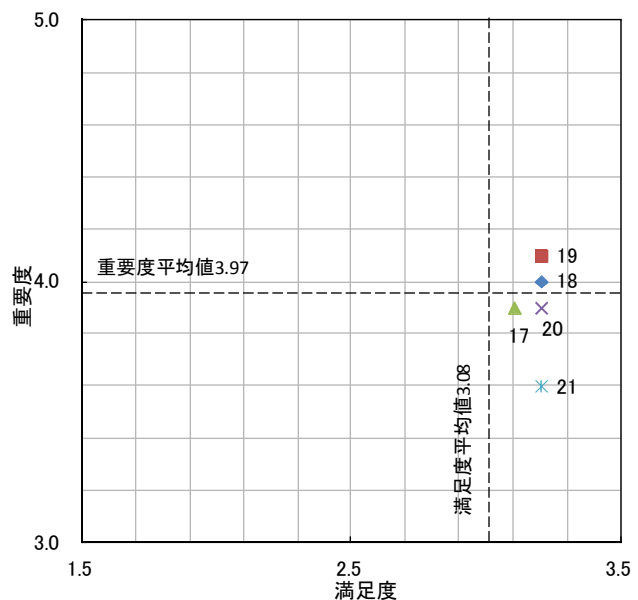
■満足度			とても不満	やや不満	どちらともいえない	まあ満足	とても満足	無回答	計
17 『家庭教育の充実』への取り組み	回答数		13	68	582	123	13	93	799
	構成比		1.6%	8.5%	72.8%	15.4%	1.6%		100.0%
18 『青少年健全育成の推進』への取り組み	回答数		11	62	520	191	14	94	798
	構成比		1.4%	7.8%	65.2%	23.9%	1.8%		100.0%
19 『学校教育の充実』への取り組み	回答数		18	73	449	237	20	95	797
	構成比		2.3%	9.2%	56.3%	29.7%	2.5%		100.0%
20 『生涯学び続けられる環境の充実』への取り組み	回答数		25	87	428	238	27	87	805
	構成比		3.1%	10.8%	53.2%	29.6%	3.4%		100.0%
21 『地域文化の保護と育成』への取り組み	回答数		10	51	525	195	19	92	800
	構成比		1.3%	6.4%	65.6%	24.4%	2.4%		100.0%



■重要度			まったく重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	まあ重要	とても重要	無回答	計
17 『家庭教育の充実』への取り組み	回答数		4	28	239	327	194	100	792
	構成比		0.5%	3.5%	30.2%	41.3%	24.5%		100.0%
18 『青少年健全育成の推進』への取り組み	回答数		1	19	217	335	220	100	792
	構成比		0.1%	2.4%	27.4%	42.3%	27.8%		100.0%
19 『学校教育の充実』への取り組み	回答数		1	12	161	311	306	101	791
	構成比		0.1%	1.5%	20.4%	39.3%	38.7%		100.0%
20 『生涯学び続けられる環境の充実』への取り組み	回答数		6	24	211	385	168	98	794
	構成比		0.8%	3.0%	26.6%	48.5%	21.2%		100.0%
21 『地域文化の保護と育成』への取り組み	回答数		9	36	302	327	117	101	791
	構成比		1.1%	4.6%	38.2%	41.3%	14.8%		100.0%



■満足度-重要度相関		満足度 平均スコア-	重要度 平均スコア-
17	『家庭教育の充実』への取り組み	3.1	3.9
18	『青少年健全育成の推進』への取り組み	3.2	4.0
19	『学校教育の充実』への取り組み	3.2	4.1
20	『生涯学び続けられる環境の充実』への取り組み	3.2	3.9
21	『地域文化の保護と育成』への取り組み	3.2	3.6

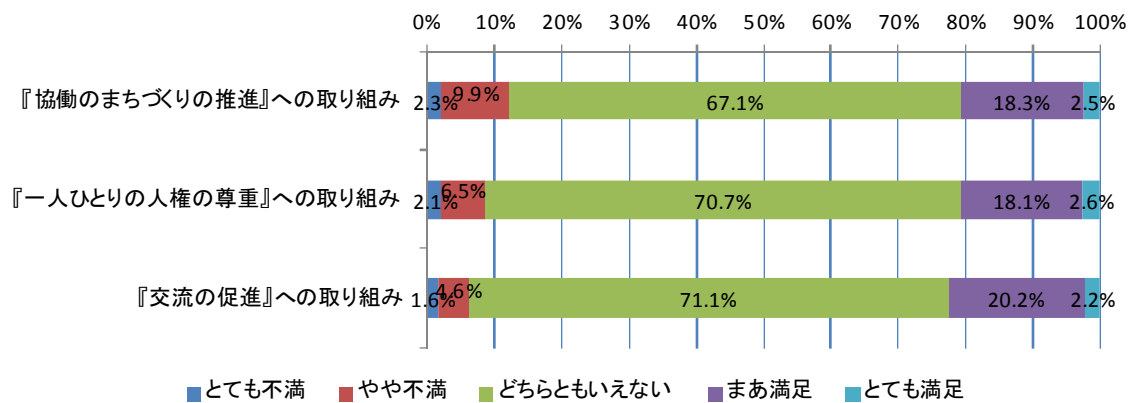


(7) 参加と交流のまちづくり

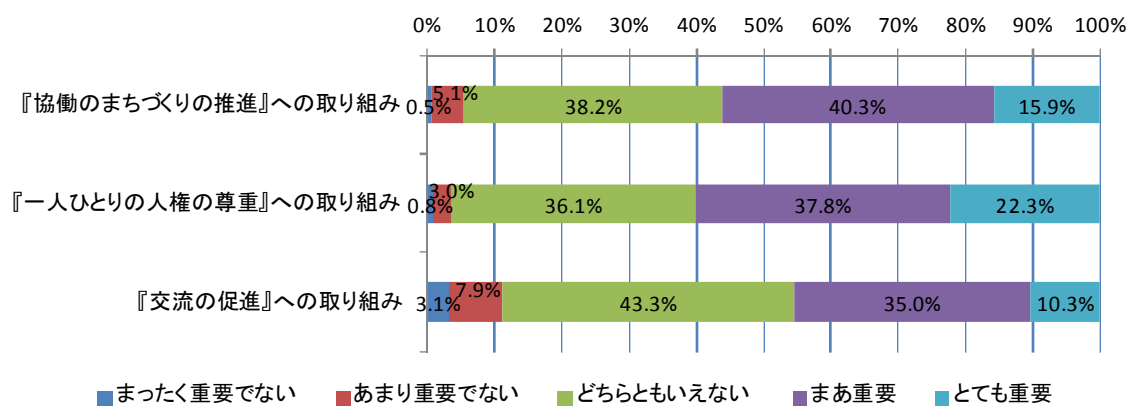
満足度においては、22『協働のまちづくりの推進』、23『一人ひとりの人権の尊重』、24『交流の促進』ともに「まあ満足」「とても満足」の回答率が約20%となっている。重要度において「まあ重要」「とても重要」の回答率が高い項目は、23『一人ひとりの人権の尊重』が60.1%、次いで22『協働のまちづくりの推進』が56.2%となっている。

相関関係は、3項目ともに「施策の維持が特に必要」の領域に位置している。

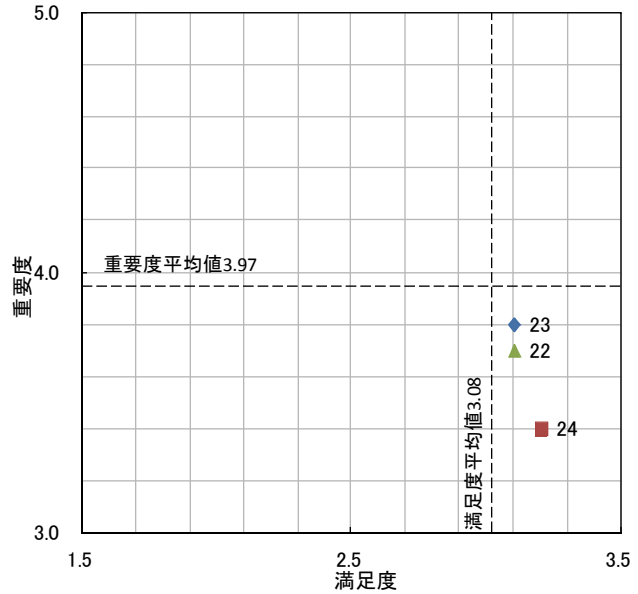
■満足度			とても不満	やや不満	どちらともいえない	まあ満足	とても満足	無回答	計
22 『協働のまちづくりの推進』への取り組み	回答数		18	79	537	146	20	92	800
	構成比		2.3%	9.9%	67.1%	18.3%	2.5%		100.0%
23 『一人ひとりの人権の尊重』への取り組み	回答数		17	52	569	146	21	87	805
	構成比		2.1%	6.5%	70.7%	18.1%	2.6%		100.0%
24 『交流の促進』への取り組み	回答数		13	37	572	163	18	89	803
	構成比		1.6%	4.6%	71.1%	20.2%	2.2%		99.8%



■重要度			まったく重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	まあ重要	とても重要	無回答	計
22 『協働のまちづくりの推進』への取り組み	回答数		4	40	300	316	125	107	785
	構成比		0.5%	5.1%	38.2%	40.3%	15.9%		100.0%
23 『一人ひとりの人権の尊重』への取り組み	回答数		6	24	287	300	177	98	794
	構成比		0.8%	3.0%	36.1%	37.8%	22.3%		100.0%
24 『交流の促進』への取り組み	回答数		25	63	344	278	82	100	792
	構成比		3.1%	7.9%	43.3%	35.0%	10.3%		99.7%



■満足度-重要度相関		満足度 平均スコア-	重要度 平均スコア-
22	『協働のまちづくりの推進』への取り組み	3.1	3.7
23	『一人ひとりの人権の尊重』への取り組み	3.1	3.8
24	『交流の促進』への取り組み	3.2	3.4

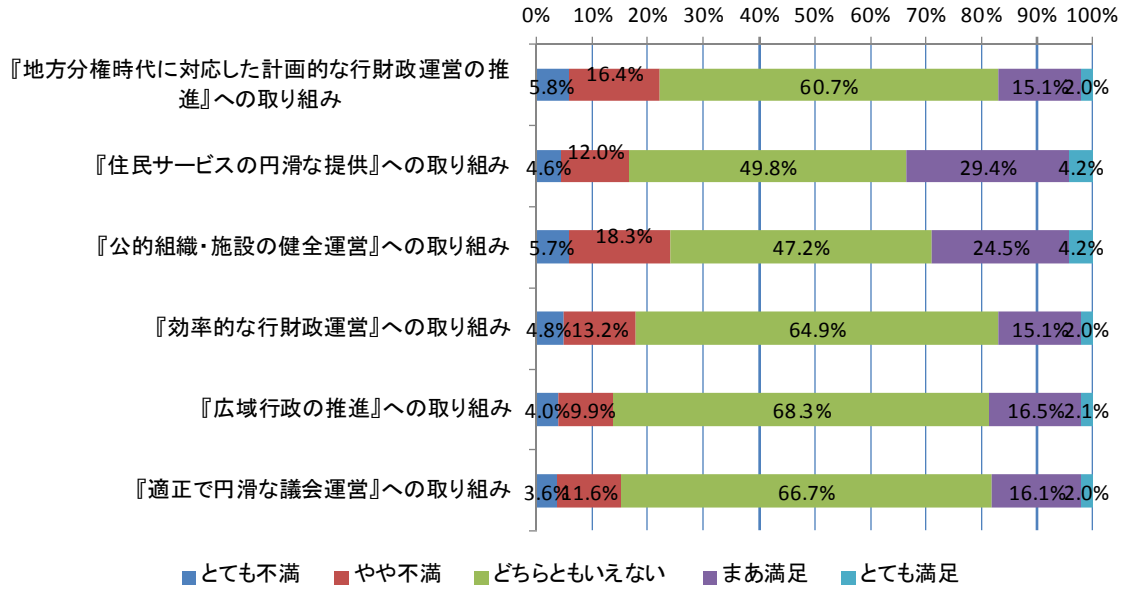


(8) 効果的・効率的な行財政運営のまちづくり

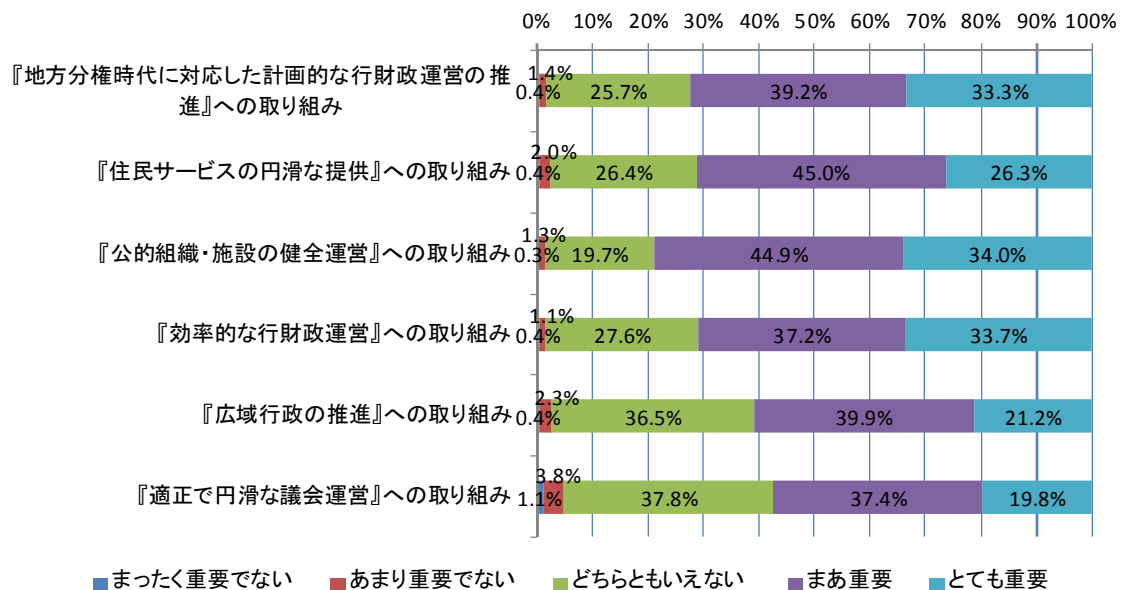
満足度において「まあ満足」「とても満足」の回答率が高い項目は、26『住民サービスの円滑な提供』が33.6%、次いで27『公的組織・施設の健全運営』が28.7%となっている。重要度では、25『地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進』、26『住民サービスの円滑な提供』、27『公的組織・施設の健全運営』、28『効率的な行財政運営』の項目で70%以上の回答者が「まあ重要」「とても重要」と回答している。

相関関係は、25『地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進』、27『公的組織・施設の健全運営』、28『効率的な行財政運営』の項目が「施策の見直しが必要」の領域、29『広域行政の推進』、30『適正で円滑な議会運営』の項目が「施策の縮小見直しが必要」の領域に位置している。

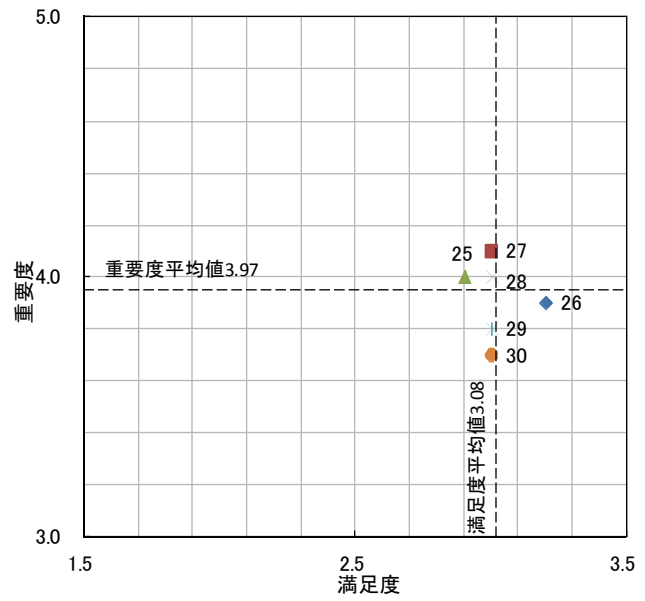
■満足度			とても不満	やや不満	どちらともいえない	まあ満足	とても満足	無回答	計
25	『地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進』への取り組み	回答数	46	131	485	121	16	93	799
		構成比	5.8%	16.4%	60.7%	15.1%	2.0%		100.0%
26	『住民サービスの円滑な提供』への取り組み	回答数	37	97	402	237	34	85	807
		構成比	4.6%	12.0%	49.8%	29.4%	4.2%		100.0%
27	『公的組織・施設の健全運営』への取り組み	回答数	46	148	381	198	34	85	807
		構成比	5.7%	18.3%	47.2%	24.5%	4.2%		100.0%
28	『効率的な行財政運営』への取り組み	回答数	38	105	515	120	16	98	794
		構成比	4.8%	13.2%	64.9%	15.1%	2.0%		100.0%
29	『広域行政の推進』への取り組み	回答数	32	79	542	131	17	91	801
		構成比	4.0%	9.9%	68.3%	16.5%	2.1%		100.9%
30	『適正で円滑な議会運営』への取り組み	回答数	29	93	537	130	16	87	805
		構成比	3.6%	11.6%	66.7%	16.1%	2.0%		100.0%



重要度		まったく重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	まあ重要	とても重要	無回答	計
25	『地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進』への取り組み	回答数	3	11	203	309	263	789
	構成比	0.4%	1.4%	25.7%	39.2%	33.3%		100.0%
26	『住民サービスの円滑な提供』への取り組み	回答数	3	16	211	360	210	800
	構成比	0.4%	2.0%	26.4%	45.0%	26.3%		100.0%
27	『公的組織・施設の健全運営』への取り組み	回答数	2	10	157	358	271	798
	構成比	0.3%	1.3%	19.7%	44.9%	34.0%		100.0%
28	『効率的な行財政運営』への取り組み	回答数	3	9	217	293	265	787
	構成比	0.4%	1.1%	27.6%	37.2%	33.7%		100.0%
29	『広域行政の推進』への取り組み	回答数	3	18	287	314	167	789
	構成比	0.4%	2.3%	36.5%	39.9%	21.2%		100.3%
30	『適正で円滑な議会運営』への取り組み	回答数	9	30	301	298	158	796
	構成比	1.1%	3.8%	37.8%	37.4%	19.8%		100.0%



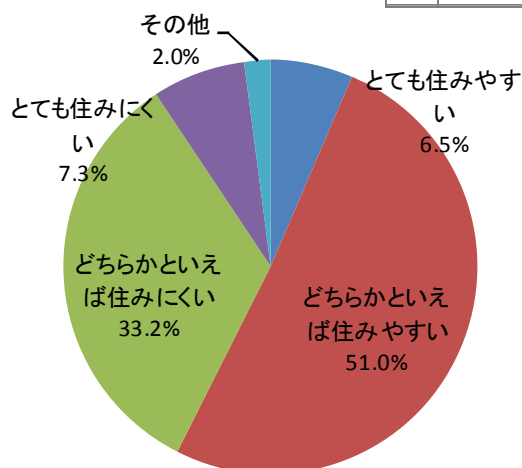
■満足度-重要度相関		満足度 平均スコア-	重要度 平均スコア-
25	『地方分権時代に対応した計画的な行財政運営の推進』への取り組み	2.9	4.0
26	『住民サービスの円滑な提供』への取り組み	3.2	3.9
27	『公的組織・施設の健全運営』への取り組み	3.0	4.1
28	『効率的な行財政運営』への取り組み	3.0	4.0
29	『広域行政の推進』への取り組み	3.0	3.8
30	『適正で円滑な議会運営』への取り組み	3.0	3.7



10. 問 11 あなたにとって辰野町は住みやすい町だと思うか

住みやすさは、「どちらかといえば住みやすい」が 51.0%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みにくい」が 33.2%の順となっている。

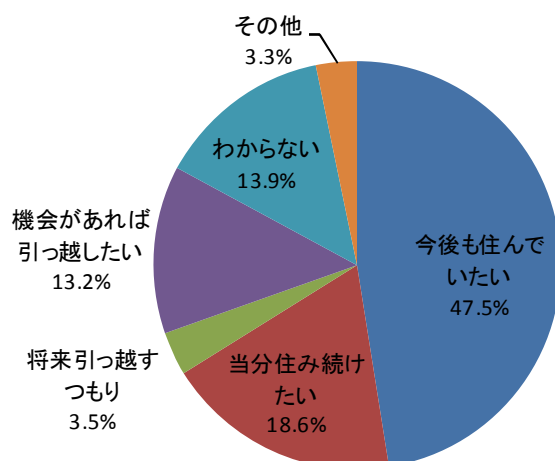
	回答数	構成比
(1) とても住みやすい	51	6.5%
(2) どちらかといえば住みやすい	403	51.0%
(3) どちらかといえば住みにくい	262	33.2%
(4) とても住みにくい	58	7.3%
(5) その他	16	2.0%
無回答	102	
計	790	100.0%



11. 問 12 今後も辰野町に住み続けたいと思うか

住み続けたいかは、「今後も住んでいたい」が 47.5%と最も多く、次いで「当分住み続けたい」が 18.6%の順となっている。「将来引っ越すつもり」と「機会があれば引っ越したい」を合せると 16.7%となる。

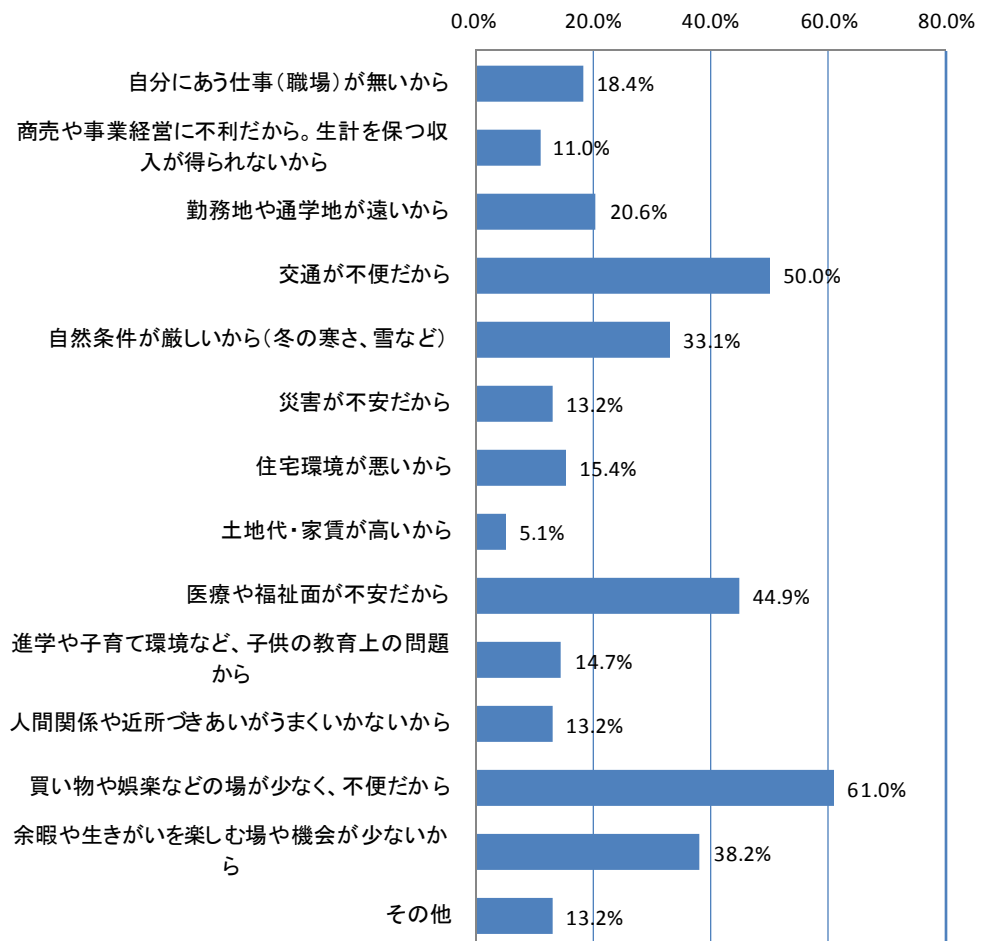
	回答数	構成比
(1) 今後も住んでいたい	391	47.5%
(2) 当分住み続けたい	153	18.6%
(3) 将来引っ越すつもり	29	3.5%
(4) 機会があれば引っ越したい	109	13.2%
(5) わからない	114	13.9%
(6) その他	27	3.3%
無回答	69	
計	823	100.0%



12. 問 13 町外に引っ越したいと思う理由は何か（複数）

町外に引っ越したいと思う理由は、「買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから」が 61.0%と最も多く、次いで「交通が不便だから」が 50.0%、「医療や福祉面が不安だから」が 44.9%の順となっている。

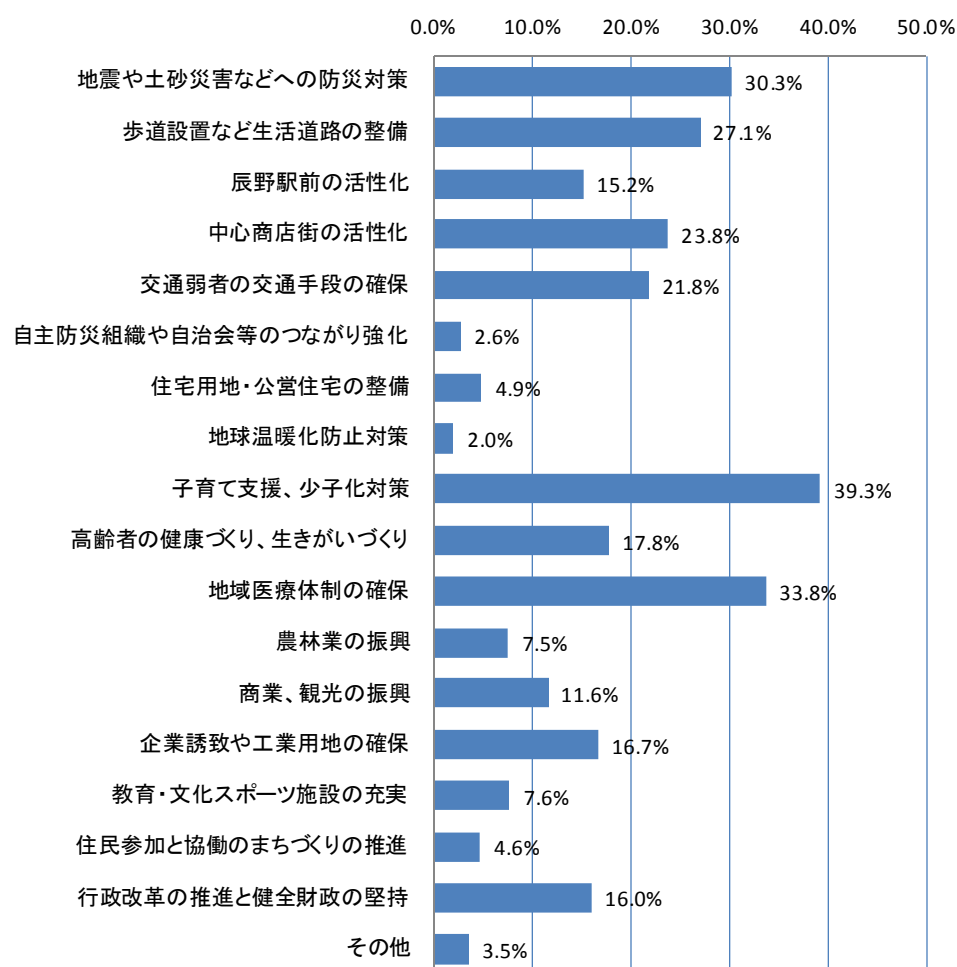
	回答数	構成比
(1) 自分にあう仕事(職場)が無いから	25	18.4%
(2) 商売や事業経営に不利だから。生計を保つ収入が得られないから	15	11.0%
(3) 勤務地や通学地が遠いから	28	20.6%
(4) 交通が不便だから	68	50.0%
(5) 自然条件が厳しいから(冬の寒さ、雪など)	45	33.1%
(6) 災害が不安だから	18	13.2%
(7) 住宅環境が悪いから	21	15.4%
(8) 土地代・家賃が高いから	7	5.1%
(9) 医療や福祉面が不安だから	61	44.9%
(10) 進学や子育て環境など、子供の教育上の問題から	20	14.7%
(11) 人間関係や近所づきあいがうまくいかないから	18	13.2%
(12) 買い物や娯楽などの場が少なく、不便だから	83	61.0%
(13) 余暇や生きがいを楽しむ場や機会が少ないから	52	38.2%
(14) その他	18	13.2%
無回答	2	
計(回答者数)	136	



13. 問 14 今後、町が特に力を入れるべき分野もしくは特に優先すべきとお考えの分野は
(3つまで)

町が力を入れるべき分野・優先すべき分野は、「子育て支援、少子化対策」が回答者のうち 39.3%と最も多く、次いで「地域医療体制の確保」が回答者のうち 33.8%の順となっている。

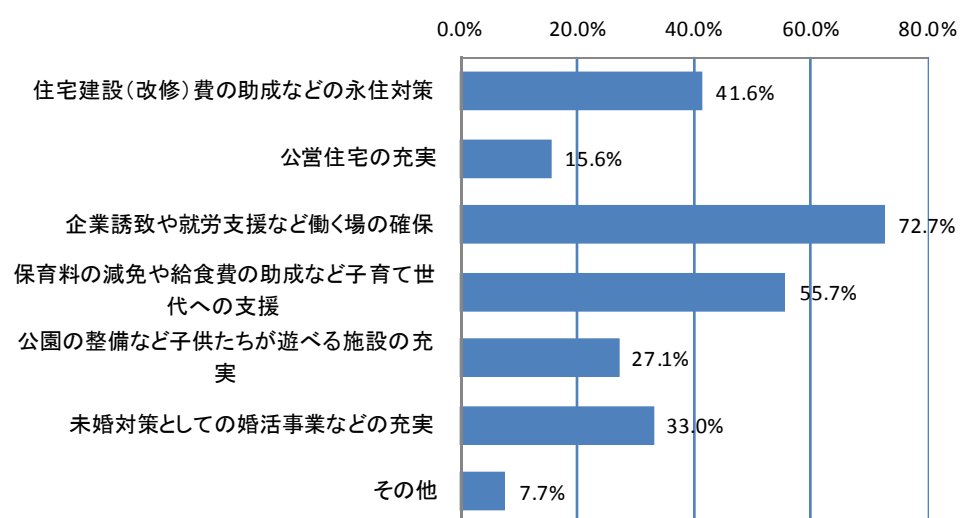
	回答数	構成比
(1) 地震や土砂災害などへの防災対策	243	30.3%
(2) 歩道設置など生活道路の整備	217	27.1%
(3) 辰野駅前の活性化	122	15.2%
(4) 中心商店街の活性化	191	23.8%
(5) 交通弱者の交通手段の確保	175	21.8%
(6) 自主防災組織や自治会等のつながり強化	21	2.6%
(7) 住宅用地・公営住宅の整備	39	4.9%
(8) 地球温暖化防止対策	16	2.0%
(9) 子育て支援、少子化対策	315	39.3%
(10) 高齢者の健康づくり、生きがいづくり	143	17.8%
(11) 地域医療体制の確保	271	33.8%
(12) 農林業の振興	60	7.5%
(13) 商業、観光の振興	93	11.6%
(14) 企業誘致や工業用地の確保	134	16.7%
(15) 教育・文化スポーツ施設の充実	61	7.6%
(16) 住民参加と協働のまちづくりの推進	37	4.6%
(17) 行政改革の推進と健全財政の堅持	128	16.0%
(18) その他	28	3.5%
無回答	90	
計(回答者数)	802	



14. 問 15 人口減少対策として、力を入れるべき施策は何か（複数）

人口対策としては、「企業誘致や就労支援など働く場の確保」が回答者のうち 72.7%と最も多く、次いで「保育料の減免や給食費の助成など子育て世代への支援」が回答者のうち 55.7%の順となっている。

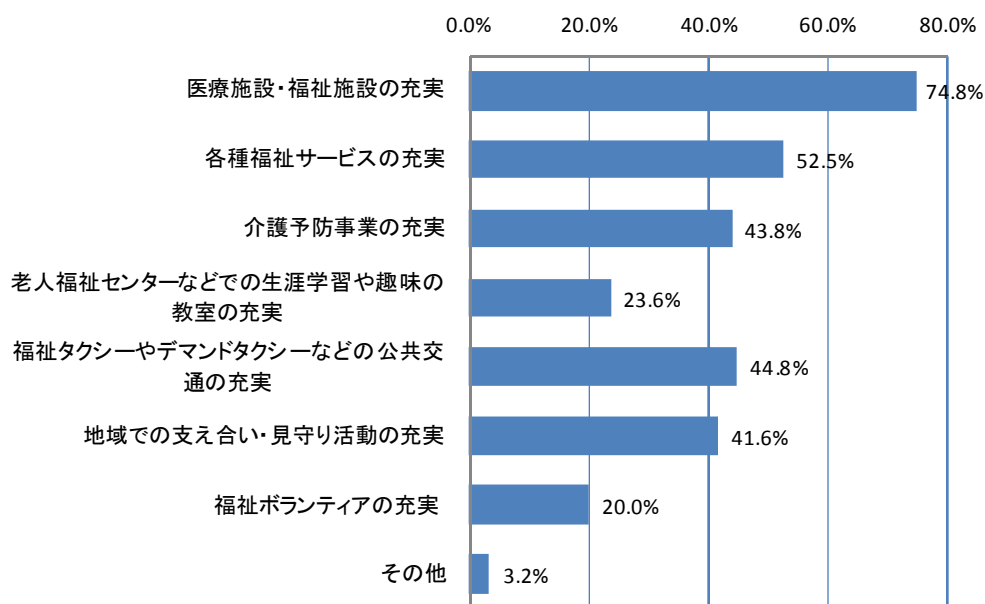
	回答数	構成比
(1) 住宅建設(改修)費の助成などの永住対策	340	41.6%
(2) 公営住宅の充実	128	15.6%
(3) 企業誘致や就労支援など働く場の確保	595	72.7%
(4) 保育料の減免や給食費の助成など子育て世代への支援	456	55.7%
(5) 公園の整備など子供たちが遊べる施設の充実	222	27.1%
(6) 未婚対策としての婚活事業などの充実	270	33.0%
(7) その他	63	7.7%
無回答	74	
計(回答者数)	818	



15. 問 16 高齢者に住みやすいまちづくり対策として、力を入れるべき施策は何か（複数）

高齢者に住みやすいまちづくり対策については、「医療施設・福祉施設の充実」が回答者のうち 74.8%と最も多く、次いで「各種福祉サービスの充実」が回答者のうち 52.5%の順となっている。

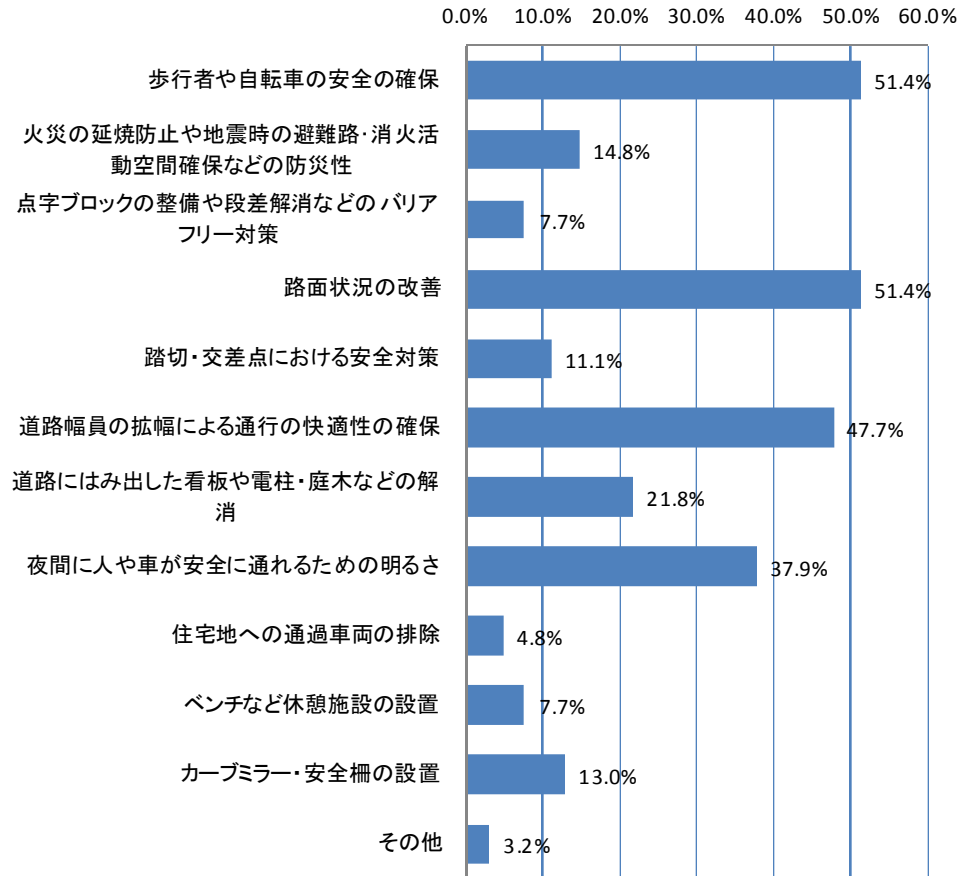
	回答数	構成比
(1) 医療施設・福祉施設の充実	610	74.8%
(2) 各種福祉サービスの充実	428	52.5%
(3) 介護予防事業の充実	357	43.8%
(4) 老人福祉センターなどでの生涯学習や趣味の教室の充実	192	23.6%
(5) 福祉タクシーやデマンドタクシーなどの公共交通の充実	365	44.8%
(6) 地域での支え合い・見守り活動の充実	339	41.6%
(7) 福祉ボランティアの充実	163	20.0%
(8) その他	26	3.2%
無回答	77	
計(回答者数)	815	



16. 問 17 日常生活で利用する身近な生活道路について、今後どのような点に重点をおいた「道づくり」が重要と考えるか（3つまで）

日常生活で利用する身近な生活道路については、「歩行者や自転車の安全の確保」と「路面状況の改善」がともに回答者のうち 51.4% と最も多い。

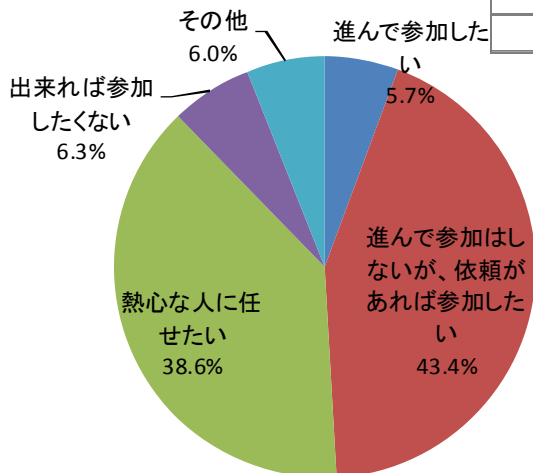
	回答数	構成比
(1) 歩行者や自転車の安全の確保	407	51.4%
(2) 火災の延焼防止や地震時の避難路・消火活動空間確保などの防災性	117	14.8%
(3) 点字ブロックの整備や段差解消などのバリアフリー対策	61	7.7%
(4) 路面状況の改善	407	51.4%
(5) 踏切・交差点における安全対策	88	11.1%
(6) 道路幅員の拡幅による通行の快適性の確保	378	47.7%
(7) 道路にはみ出した看板や電柱・庭木などの解消	173	21.8%
(8) 夜間に人や車が安全に通れるための明るさ	300	37.9%
(9) 住宅地への通過車両の排除	38	4.8%
(10) ベンチなど休憩施設の設置	61	7.7%
(11) カーブミラー・安全柵の設置	103	13.0%
(12) その他	25	3.2%
無回答	100	
計(回答者数)	792	



17. 問 18 あなたの「協働のまちづくり」へのお考えは

「協働のまちづくり」へのお考えについては、「進んで参加はしないが、依頼があれば参加したい」が43.4%と最も多く、次いで「熱心な人に任せたい」が38.6%の順となっている。

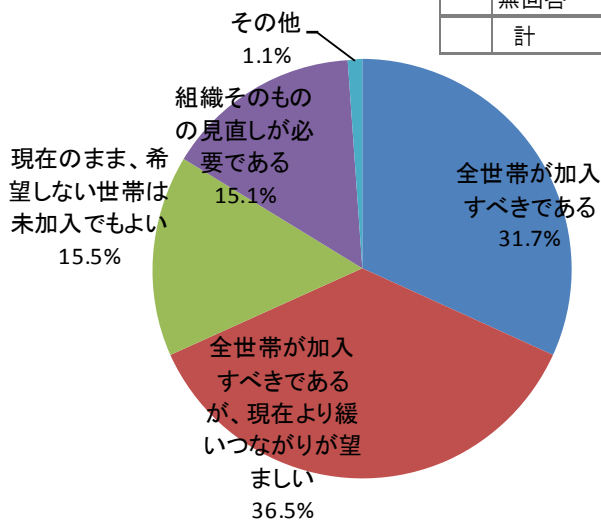
	回答数	構成比
(1) 進んで参加したい	46	5.7%
(2) 進んで参加はしないが、依頼があれば参加したい	352	43.4%
(3) 熱心な人に任せたい	313	38.6%
(4) 出来れば参加したくない	51	6.3%
(5) その他	49	6.0%
無回答	81	
計	811	100.0%



18. 問 19 自治会の今後についてのお考えは

自治会の今後については、「全世帯が加入すべきであるが、現在より緩いつながりが望ましい」が36.5%と最も多く、次いで「全世帯が加入すべきである」が31.7%の順となっている。

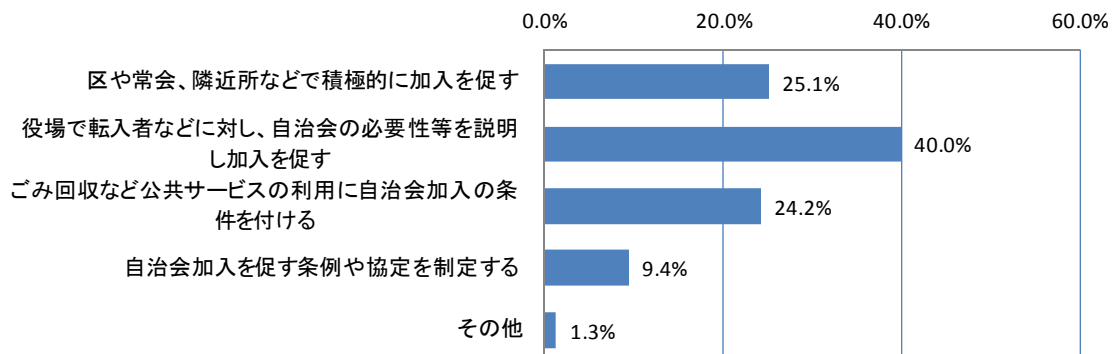
	回答数	構成比
(1) 全世帯が加入すべきである	260	31.7%
(2) 全世帯が加入すべきであるが、現在より緩いつながりが望ましい	299	36.5%
(3) 現在のまま、希望しない世帯は未加入でもよい	127	15.5%
(4) 組織そのものの見直しが必要である	124	15.1%
(5) その他	9	1.1%
無回答	73	
計	819	100.0%



19. 問 20 加入を促進するために必要と思われる対策で効果的と思われるものは

加入を促進するために必要と思われる対策は、「役場で転入者などに対し、自治会の必要性等を説明し加入を促す」が回答者のうち40.0%と最も多い。

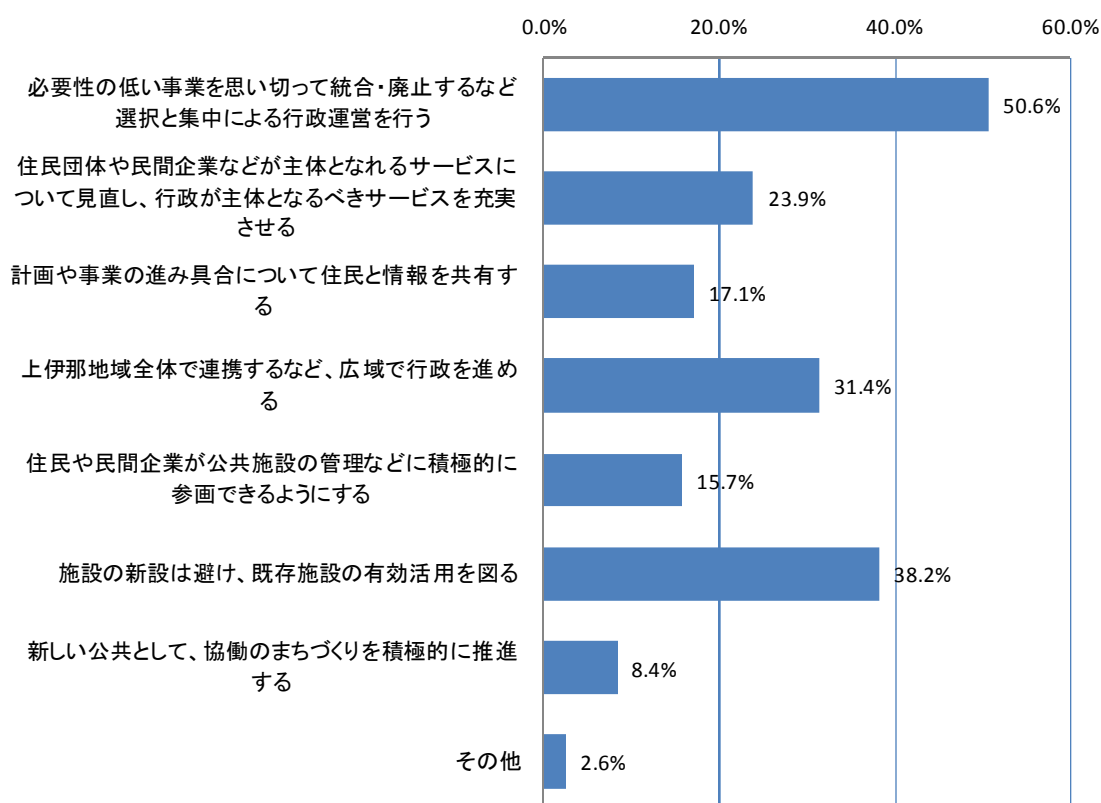
	回答数	構成比
(1) 区や常会、隣近所などで積極的に加入を促す	137	25.1%
(2) 役場で転入者などに対し、自治会の必要性等を説明し加入を促す	218	40.0%
(3) ごみ回収など公共サービスの利用に自治会加入の条件を付ける	132	24.2%
(4) 自治会加入を促す条例や協定を制定する	51	9.4%
(5) その他	7	1.3%
無回答	14	
計(回答者数)	545	100.0%



20. 問 21 今後、辰野町が効率的な行財政運営を進めるためには何を重視すべき（2つまで）

今後、辰野町が効率的な行財政運営を進めるためには、「必要性の低い事業を思い切って統合・廃止するなど選択と集中による行政運営を行う」が回答者のうち 50.6%と最も多く、次いで「施設の新設は避け、既存施設の有効活用を図る」が回答者のうち 38.2%の順となっている。

	回答数	構成比
(1) 必要性の低い事業を思い切って統合・廃止するなど選択と集中による行政運営を行う	402	50.6%
(2) 住民団体や民間企業などが主体となれるサービスについて見直し、行政が主体となるべきサービスを充実させる	190	23.9%
(3) 計画や事業の進み具合について住民と情報を共有する	136	17.1%
(4) 上伊那地域全体で連携するなど、広域で行政を進める	249	31.4%
(5) 住民や民間企業が公共施設の管理などに積極的に参画できるようにする	125	15.7%
(6) 施設の新設は避け、既存施設の有効活用を図る	303	38.2%
(7) 新しい公共として、協働のまちづくりを積極的に推進する	67	8.4%
(8) その他	21	2.6%
無回答	98	
計(回答者数)	794	



21. 問 22 あなたが望む将来の辰野町のイメージとしてふさわしいと考えるものは（3つまで）

町が力を入れるべき・優先すべき分野については、「子供たちが地域で安心、安全に暮らせる子育て応援のまち」が回答者のうち54.3%と最も多く、次いで「高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせる福祉のまち」が回答者のうち46.3%の順となっている。

	回答数	構成比
(1) 子供たちが地域で安心、安全に暮らせる子育て応援のまち	448	54.3%
(2) 高齢者や障がい者など、すべての人が安心して暮らせる福祉のまち	382	46.3%
(3) 医療体制や健康づくりの充実した健康寿命が長いまち	281	34.1%
(4) 事故や犯罪が少なく、災害に強い安全なまち	254	30.8%
(5) 身近な自然に親しめ、地球にやさしい環境のまち	157	19.0%
(6) 道路や公園などの整備が行われ、快適に居住できる暮らしのまち	285	34.5%
(7) さまざまな産業の活動が行われる産業のまち	116	14.1%
(8) 多くの人が訪れ、賑わいのある観光のまち	107	13.0%
(9) 学習環境が整い、未来へはばたく人材が育つ教育のまち	79	9.6%
(10) 芸術・文化・スポーツの盛んな文化・スポーツのまち	55	6.7%
(11) 地域活動やボランティア活動などが盛んな町民活動のまち	63	7.6%
(12) 町民の力で自主的にまちづくりを進める自治のまち	69	8.4%
(13) 国際交流や都市交流が活発で、外国人や町外から訪れる人が多い交流のまち	35	4.2%
(14) その他	8	1.0%
無回答	67	
計(回答者数)	825	

